

南あわじ市・あわじ島農業協同組合との連携協定に関する概要

市区町村名/JA名	南あわじ市（兵庫県）／あわじ島農業協同組合（兵庫県南あわじ市）	
市長/組合長	守本 憲弘(もりもと かずひろ)/森 紘一（元南淡町長）	
住所	〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1 / 〒656-0462 兵庫県南あわじ市市青木18番地の1	
アクセス	<p>【空港】徳島空港から車で40分</p> <p>【車】神戸淡路鳴門自動車道 西淡三原ICから南あわじ市役場まで 約10分（5km）</p>	
人口等	47,552人（平成30年12月現在）	
世帯	19,391世帯（平成30年12月現在）	
面積	229.17km <sup>2</sup>	
市の概要	<p>平成17年1月11日、西淡町、三原町、南淡町、緑町が合併して「南あわじ市」になりました。兵庫県の最南端に位置する、面積229.01km<sup>2</sup>の市です。南あわじ市は、南北に長い地形の淡路島の南部に位置しています。南部と西部はそれぞれ播磨灘、紀伊水道に面し、北部の先山山地、南東部の諭鶴羽山地、西の南辺寺山塊に囲まれ、中央部には三原平野が広がっています。また、紀淡海峡には、周囲約10キロメートル、人口約500人の沼島が浮かんでいます。瀬戸内気候に属し、少雨温暖な気候により、通年にわたって作付けが行われている一大農業地帯です。徳島県との県境にある鳴門海峡では、世界最大の渦潮を見ることができ、特異な自然環境がもたらす現象の雄大さを感じることができます。歴史文化では、江戸時代より継承されてきた淡路人形浄瑠璃をはじめとして、だんじり祭りなど、多数の伝統文化が息づいています。</p>	
組合の概要 (あわじ島農業協同組合)	<p>平成2年4月1日に三原郡農協と緑町農協・湊農協とが合併し、あわじ島農協が発足しました。その後平成17年4月1日に北阿萬農協と合併して南あわじ市全域を管轄する総合農協になりました。南あわじ市は兵庫県の南部に位置し、播磨灘、大阪湾、紀伊水道に囲まれた淡路島の約3分の1を占めており、三原川を中心に開けた島内随一の肥沃な三原平野においてたまねぎ、レタス、はくさい、キャベツ、ブロッコリーを中心に米、畜産、果樹、花卉などの多彩な農畜産物を生産しています。あわじ島農協は、兵庫県内でも随一の生産農協であり、たまねぎ・レタスを中心に京阪神をはじめ全国の消費地に生鮮野菜を供給しています。</p>	
主な産業	<p>産業構成は、第1次産業26%、第2次産業が26%、第3次産業48%、野菜等では、主に野菜の売り上げが60%を占めています。また、酪農・畜産も盛んで、淡路島牛乳、プリン、ヨーグルトは全国的なブランドとして親しまれています。肉牛は兵庫ブランド但馬牛の流れをくむ繁殖和牛の生産が盛んで、神戸ビーフや松坂牛の元牛として取引されています。</p> <p>漁業では、播磨灘や鳴門海峡からは新鮮な魚介類が水揚げされ、沼島のハモ、アジや養殖の淡路島三年トラフグ、サクラマス、ワカメ、のりなど多様な海産物を阪神圏をはじめとして全国各地へ出荷されています。</p>	
卒業生	<p>森紘一 あわじ島農協組合長（S36 短農卒）</p> <p>原口育大 南あわじ市市議会議員（元議長）（S53 農芸化学学科卒）</p> <p>神田拓治 元南あわじ市農林振興部長（S53 農芸化学学科卒）</p> <p>秦伸一郎 秦組本店(株)（醤油製造）社長（S56 醸造学科卒）</p> <p>児島一雄 児島醸造食品(株)（酢製造）社長（S58 醸造学科卒）</p> <p>齊藤昭治 兵庫県農業経営士、元市認定農業者会会長（S60 農業経済卒）</p>	
交流実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成6年度旧4町が、畜産環境保全対策業務（土壌診断調査、根こぶ病対策、土壌と牛糞堆肥、灌漑用水調査等）を土壌学研究室に委託</li> <li>・平成7年3月2日、土づくり講演会を実施</li> <li>・平成9年11月28日～29日、第9回全国土の会兵庫大会を開催（参加140名、土壌学研究室連携）</li> <li>・醤油製造会社「秦組本店(株)」(社長は東農大出身)にインターンシップ受入れ</li> <li>・H28年度から南あわじ市「アグリアイランド」にて農大生の実習（H29.2ビジネス学科2名、H30.2ビジネス学科6名）</li> </ul>	
連携協定の要望	<p>○産地課題を調査研究し、具体的政策の立案・実施及び成果を生み出す連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.三毛作体系の継続をめざした土づくりと生産体制の強化</li> <li>2.野菜残さ（特に玉葱）処理システムの確立</li> <li>3.漁獲量を復活させるための山・川・海を通じた栄養塩の循環</li> <li>4.鳥獣被害対策</li> <li>5.次世代農業のあり方とモデル的施策の立案・実施</li> <li>6.農大生のインターンシップ受入及び就農・就職支援</li> <li>7.教員、学生による調査研究の受入</li> </ol>	
本学担当窓口	<p>全国土の会 後藤逸名名誉教授/国際食農科学科 五十嵐大造教授/農学部農学科 篠原弘亮教授</p>	
市/JA担当者	<p>●南あわじ市</p> <p>農林水産部付部長兼食の拠点推進課長</p> <p>喜田憲和（きだのりかず）</p> <p>〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1</p> <p>T e l : 0799-43-5224 / F a x 0799-43-5340</p>	<p>●あわじ島農業協同組合</p> <p>営農部長 柏木賢治（かしわぎけんじ）</p> <p>〒656-0462 兵庫県南あわじ市市青木18番地の1</p> <p>T e l : 0799-42-5200 / F a x 0799-42-3188</p>